



ふくみんの 突撃インタビュー!

ふう
あとりえ風 編

「自由な表現を 楽しみながら」

今回は、**あたりえ風**の
伊藤敬子さんと政井英昭さんにインタビューしました！



▲あたりえ風のスタッフの皆さん
(左 政井さん、右から2番目 伊藤さん)

Q 「あたりえ風」とは、どんな団体ですか？

A 特別支援学校生や卒業生などが、余暇活動として絵画・書道・工作など、自由な形で表現活動をしています。平成24年、特別支援学校の先生方が中心となって立ち上げました。毎月第3日曜日に福井県社会福祉センターで活動をしています。現在は10代から40代までの27人が、春に開催している作品展に向けて制作を進めています。作品展では、一人ひとりの個性が表れた作品を見ることができます。



▲ボランティア活動の様子

Q どんな思いで活動をしていますか？

A 自由に楽しくのびのびと作品を作ることを大切にしています。福井県は障がい者の文化・芸術活動が生計を立てることにつながる例は少ないです。今後、好きなことが仕事にも繋がっていくといいなと思っています。

Q いっしょに活動してくれる仲間を募集していますか？

A 美術について指導するのではなく、一人ひとりがやりたいことのサポートをするため、美術指導の経験が無くても大歓迎です。一緒に楽しみながら活動することを大切にしているので、ボランティアに来て一緒に制作するのもOKです。皆さまからのご連絡をお待ちしています！



▲制作中の作品



<お問い合わせ>
Eメール atorie.hu@gmail.com

(担当 伊藤さん)

ボラさんぽ...

～迫力ある踊りで みんなを元気に～



◀ふくいバーチャル
文化芸術祭での様子

風の会は、男女15人で活動している民踊ボランティアグループです。鯖江市を中心に活動するグループに在籍していたメンバー数人が、「福井市でも、おわら節を披露したい！」と、令和2年2月に新しくグループを立ち上げたのがきっかけです。自慢の「越中おわら節」をはじめ、三国節や佐渡おけさ、麦屋節などを、自治会型デイホームやお祭りなど様々な場面で披露しています。風の会としてはまだ歴史は浅いですが、令和4年度ふくいバーチャル文化芸術祭で、「福いいネ！賞」を受賞しました。

代表の斎藤トキ子さんは「私たちは様々な民踊を練習し披露させていただいております。風の会は、男性メンバーによる力強い男踊りが魅力的なグループです。中でも越中おわら節は、富山の八尾まで行った様だと思っていただけるほどに自信をもっています。たくさん的人に私たちの踊りを観ていただき、元気を与えられるようメンバー全員で練習していますので、ぜひお声がけいただければ嬉しいです。」と語ってくれました。



▲ふれあいコンサートでの様子



◀ふくいバーチャル
文化芸術祭「三国節」
(動画が見れます)